

2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年7月26日

上場会社名 日東電工株式会社
 コード番号 6988 URL <https://www.nitto.com/jp/ja/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高崎 秀雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務本部長 (氏名) 伊勢山 恭弘 TEL 06-7632-2101
 四半期報告書提出予定日 2021年7月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	203,715	24.7	29,720	70.4	29,643	72.0	20,870	73.2	20,844	73.2	22,716	100.9
2021年3月期第1四半期	163,310	△7.9	17,442	17.2	17,230	16.0	12,053	17.1	12,038	17.1	11,307	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	140.87	140.80
2021年3月期第1四半期	80.03	79.97

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	972,322	724,637	723,812	74.4
2021年3月期	965,901	716,686	715,868	74.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	110.00	—	110.00	220.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	400,000	11.8	60,000	41.6	60,000	43.5	42,000	37.4	42,000	37.5	283.85
通期	785,000	3.1	105,000	11.9	105,000	12.5	75,000	6.7	75,000	6.8	506.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	149,758,428株	2021年3月期	149,758,428株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,779,781株	2021年3月期	1,792,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	147,970,047株	2021年3月期1Q	150,422,040株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)における経済環境は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対するワクチンの普及や、景気支援策の広がりにより、各国間に差があるものの、世界的に景気回復が進みました。

このような環境の中、当社グループの主要な市場においては、ノートパソコン、タブレット端末用光学フィルムが引き続き堅調に推移し、スマートフォン用の製品は、OLED用光学フィルムや組み立て用部材並びに高精度基板の需要が伸長しました。また半導体需要の増加を背景とした半導体製造工程用部材の需要も好調に推移しました。核酸医薬市場においては、COVID-19のワクチン開発が急ピッチで進んでおり、当社グループにおける受託製造及び関連部材の需要が高まっています。加えて、核酸医薬の創薬においてライセンス契約に基づくマイルストーンを達成しました。

当社グループにおけるCOVID-19への対応においては、すべての人の健康と安全を最優先に、感染拡大の防止とともに、お客様への供給継続に向けて取り組んでおります。その一環として、情報通信技術を活用し、テレワークやウェブ会議といった新しい働き方を積極的に推進しました。

以上の結果、売上収益は前第1四半期連結累計期間と比較し24.7%増(以下の比較はこれに同じ)の203,715百万円となりました。また、営業利益は70.4%増の29,720百万円、税引前四半期利益は72.0%増の29,643百万円、四半期利益は73.2%増の20,870百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は73.2%増の20,844百万円となりました。

セグメント別の業績概況

① インダストリアルテープ

基盤機能材料では、前第1四半期連結累計期間に対して伸長しました。ディスプレイの進化に伴いハイエンドスマートフォンの生産が増加し、組み立て用部材の需要が伸長しました。また、テレワークの拡大などを背景にタブレット端末、サーバーなどの電子機器に使用されるセラミックコンデンサーや半導体の需要が拡大し、それらの生産における工程用部材も伸長しました。加えて、自動車材料や一般工業用部材、金属用保護材料などが、前第1四半期連結累計期間におけるCOVID-19による影響から回復し、需要が増加しました。

以上の結果、売上収益は82,542百万円(41.0%増)、営業利益は10,717百万円(549.4%増)となりました。

② オプトロニクス

情報機能材料では、前第1四半期連結累計期間に対して伸長しました。テレワークの拡大などを背景としたノートパソコン、タブレット端末用光学フィルムの需要が、引き続き堅調に推移しました。スマートフォン用製品は、OLEDディスプレイ用光学フィルムの採用が拡大しました。一方、TV用製品は、前第1四半期連結累計期間において技術供与によるロイヤリティ収益を計上しており、その反動があり減収となりました。

プリント回路では、前第1四半期連結累計期間に対して伸長しました。ハードディスクドライブにおいて、高容量化が続くデータセンター用途は、堅調な需要に加えて、前第1四半期連結累計期間におけるCOVID-19による影響の反動があり増加しました。また、スマートフォン用の高精度基板は、採用機種数の拡大により伸長しました。

以上の結果、売上収益は106,727百万円(11.0%増)、営業利益は17,315百万円(2.3%減)となりました。

③ ライフサイエンス

ライフサイエンスでは、前第1四半期連結累計期間に対して伸長しました。核酸受託製造におけるCOVID-19ワクチンの治験への対応による実績化や、核酸医薬合成材料(NittoPhase)の需要拡大が業績に寄与しました。また、医療用衛生材料の需要がCOVID-19による影響から緩やかな回復が見られました。一方、病院への通院者数の減少などにより経皮吸収型テープ製剤の需要が減少しました。

核酸医薬の創薬においては、肝線維症・肝硬変を対象とした製剤の独占ライセンス契約に基づく、所定のマイルストーンを達成しました。また、肺線維症及び難治性の癌治療薬の治験に、引き続き取り組んでおります。

以上の結果、売上収益は11,901百万円(69.0%増)、営業利益は3,113百万円(前年同四半期は営業損失518百万円)となりました。

④ その他

メンブレン(高分子分離膜)では、前第1四半期連結累計期間に対して伸長しました。各種産業用途やエネルギー分野などにおける需要が回復しました。なお、当セグメントには未だ十分な売上収益を伴っていない新規事業が含まれております。

以上の結果、売上収益は7,037百万円(30.5%増)、営業損失は969百万円(前年同四半期は営業損失1,021百万円)となりました。

(参考) セグメント別の状況

(単位: 百万円 比率: %)

		前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	売上収益	58,533	82,542	141.0
	営業利益	1,650	10,717	649.4
オプトロニクス	情報機能材料	85,782	89,163	103.9
	プリント回路	10,390	17,563	169.0
	計	96,173	106,727	111.0
	営業利益	17,717	17,315	97.7
ライフサイエンス	売上収益	7,043	11,901	169.0
	営業利益	△518	3,113	—
その他	売上収益	5,392	7,037	130.5
	営業利益	△1,021	△969	—
全社・消去	売上収益	△3,832	△4,493	—
	営業利益	△385	△457	—
合計	売上収益	163,310	203,715	124.7
	営業利益	17,442	29,720	170.4

※ 従来「インダストリアルテープ」の内訳として、「基盤機能材料」と「トランスポーターション」に分けて記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、「基盤機能材料」と「トランスポーターション」を統合し、「インダストリアルテープ」として記載しております。前第1四半期連結累計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ資産合計は6,421百万円増加し、972,322百万円となり、負債合計は1,529百万円減少し、247,685百万円となりました。また、資本合計は7,950百万円増加し、724,637百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の74.1%から74.4%になりました。

主な増減は資産では、現金及び現金同等物が13,655百万円減少、売上債権及びその他の債権が2,763百万円増加、棚卸資産が4,872百万円増加、その他の流動資産が5,962百万円増加、有形固定資産が5,038百万円増加、金融資産が1,120百万円増加しました。負債では、仕入債務及びその他の債務が1,409百万円増加、未払法人所得税等が3,043百万円減少、その他の金融負債（流動）が1,263百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年4月26日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	300,888	287,233
売上債権及びその他の債権	182,939	185,703
棚卸資産	107,668	112,540
その他の金融資産	1,399	1,396
その他の流動資産	17,121	23,083
流動資産合計	610,017	609,957
非流動資産		
有形固定資産	270,813	275,851
使用権資産	14,979	14,189
のれん	4,593	4,565
無形資産	13,620	13,867
持分法で会計処理されている投資	392	382
金融資産	10,856	11,976
繰延税金資産	25,951	26,855
その他の非流動資産	14,676	14,678
非流動資産合計	355,884	362,364
資産合計	965,901	972,322

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	100,790	102,199
社債及び借入金	545	187
未払法人所得税等	11,225	8,182
その他の金融負債	22,834	24,097
その他の流動負債	47,387	46,889
流動負債合計	182,783	181,556
非流動負債		
その他の金融負債	17,161	16,482
確定給付負債	46,754	47,161
繰延税金負債	347	308
その他の非流動負債	2,167	2,175
非流動負債合計	66,431	66,128
負債合計	249,214	247,685
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	26,783	26,783
資本剰余金	50,070	49,998
利益剰余金	635,916	641,965
自己株式	△10,039	△9,966
その他の資本の構成要素	13,136	15,032
親会社の所有者に帰属する持分合計	715,868	723,812
非支配持分	817	824
資本合計	716,686	724,637
負債及び資本合計	965,901	972,322

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	163,310	203,715
売上原価	112,788	135,848
売上総利益	50,522	67,867
販売費及び一般管理費	24,891	29,708
研究開発費	8,223	9,038
その他の収益	1,160	1,299
その他の費用	1,125	699
営業利益	17,442	29,720
金融収益	198	216
金融費用	416	307
持分法による投資損益 (△は損失)	5	14
税引前四半期利益	17,230	29,643
法人所得税費用	5,176	8,772
四半期利益	12,053	20,870
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	12,038	20,844
非支配持分	14	26
合計	12,053	20,870
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	80.03	140.87
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	79.97	140.80

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	12,053	20,870
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	125	50
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△869	1,790
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	△1	3
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△0	0
その他の包括利益合計	△745	1,845
四半期包括利益合計	11,307	22,716
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	11,292	22,689
非支配持分	14	26
合計	11,307	22,716

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2020年4月1日残高	26,783	50,271	643,521	△27,505	△3,624	689,446	757	690,204
四半期利益	—	—	12,038	—	—	12,038	14	12,053
その他の包括利益	—	—	—	—	△745	△745	△0	△745
四半期包括利益合計	—	—	12,038	—	△745	11,292	14	11,307
株式報酬取引	—	△200	—	—	56	△144	—	△144
配当金	—	—	△15,391	—	—	△15,391	△22	△15,414
自己株式の変動	—	10	—	△26,415	—	△26,405	—	△26,405
所有者との取引額等 合計	—	△190	△15,391	△26,415	56	△41,941	△22	△41,963
2020年6月30日残高	26,783	50,081	640,167	△53,921	△4,313	658,797	750	659,547

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2021年4月1日残高	26,783	50,070	635,916	△10,039	13,136	715,868	817	716,686
四半期利益	—	—	20,844	—	—	20,844	26	20,870
その他の包括利益	—	—	—	—	1,844	1,844	0	1,845
四半期包括利益合計	—	—	20,844	—	1,844	22,689	26	22,716
株式報酬取引	—	△69	—	—	50	△18	—	△18
配当金	—	—	△14,796	—	—	△14,796	△20	△14,816
自己株式の変動	—	△2	—	72	—	69	—	69
所有者との取引額等 合計	—	△72	△14,796	72	50	△14,745	△20	△14,765
2021年6月30日残高	26,783	49,998	641,965	△9,966	15,032	723,812	824	724,637

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	17,230	29,643
減価償却費及び償却費	11,840	12,011
減損損失	63	29
確定給付負債の増減額	559	421
売上債権及びその他の債権の増減額	△28	△2,240
棚卸資産の増減額	△5,161	△4,409
仕入債務及びその他の債務の増減額	△4,940	874
利息及び配当金の受入額	190	206
利息の支払額	△180	△196
法人税等の支払額又は還付額	△11,301	△12,205
その他	△3,187	△9,438
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,083	14,696
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△15,581	△12,120
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	51	204
定期預金の増減額	674	52
投資有価証券の取得による支出	△322	△571
関係会社株式の取得による支出	△879	—
その他	0	469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,057	△11,965
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△1	△357
リース負債の返済による支出	△1,471	△1,614
自己株式の増減額	△26,605	—
配当金の支払額	△15,391	△14,796
その他	△29	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,499	△16,794
現金及び現金同等物に係る為替換算差額の影響額	△146	407
現金及び現金同等物の増減額	△54,620	△13,655
現金及び現金同等物の期首残高	304,922	300,888
現金及び現金同等物の四半期末残高	250,302	287,233

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 百万円)

	インダ ストリアル テープ	オプトロ ニクス	ライフサ イエンス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	57,752	94,510	6,098	4,752	163,113	197	163,310
セグメント間の売上収益	781	1,662	945	640	4,029	△4,029	—
セグメント売上収益合計	58,533	96,173	7,043	5,392	167,143	△3,832	163,310
営業利益(△は損失)	1,650	17,717	△518	△1,021	17,827	△385	17,442
金融収益							198
金融費用							△416
持分法による投資損益 (△は損失)							5
税引前四半期利益							17,230

(注) 当第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、従来「インダストリアルテープ」に含まれていた「基盤機能材料」と「トランスポーテーション」を統合しております。前第1四半期連結累計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料、プロセス材料、自動車材料等)
オプトロニクス	情報機能材料、プリント回路
ライフサイエンス	医療関連材料
その他	高分子分離膜、その他製品

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	インダ ストリアル テープ	オプトロ ニクス	ライフサ イエンス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	81,845	104,784	10,917	5,927	203,474	241	203,715
セグメント間の売上収益	697	1,943	984	1,109	4,734	△4,734	—
セグメント売上収益合計	82,542	106,727	11,901	7,037	208,208	△4,493	203,715
営業利益(△は損失)	10,717	17,315	3,113	△969	30,177	△457	29,720
金融収益							216
金融費用							△307
持分法による投資損益 (△は損失)							14
税引前四半期利益							29,643

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料、プロセス材料、自動車材料等)
オプトロニクス	情報機能材料、プリント回路
ライフサイエンス	医療関連材料
その他	高分子分離膜、その他製品

(重要な後発事象)

該当事項はありません。